



発行所

JMITU (日本金属製造情報通信労働組合)

オハラ樹脂工業分会

〒457-0841 名古屋市南区豊田五丁目17-10

「オハラ樹脂工業分会ホームページ ※組織外、  
http://www.roren.net/jmiu/ojk-union/index.html」 無断転載禁止

<JMITUホームページ>

「http://www.jmitu.com」

<JMITUオハラ樹脂工業分会 Eメール>

JMITUオハラ樹脂工業分会への文書送付、ご意見、  
問い合わせは「jmitu\_aichi@roren.net」へ。

【12月25日の団体交渉議題】

年末一時金に関する協議

組合側の要求

- ・基本給の3ヶ月分を、一律に支給すること。

会社回答

- ・業績悪化の為、過去8年(16期)連続の「ゼロ回答」。

# 夏冬一時金 8期連続「ゼロ回答」!!

## 妥結に至らず次回に持ち越し!!



団体交渉に参加した組合側のメンバー (豊田コミュニティセンター 会議室にて)

# 社長が高級車に乗り換えた!!

2024年12月25日(水)JMITU愛知支部オハラ樹脂工業分会は、第11回目の団体交渉を、豊田コミュニティセンターで開催しました。会場については、今回も組合は本社食堂を提案しましたが、いつものように会社は、何ら合理的理由を示さず、会社から徒歩で僅か7分程度の外部会議室を一方的に指定してきました。なぜ距離的・経済的にも優れた本社食堂を頑なに拒否し、外部会議室での開催に固執するのか理解できません。しかし要求の前進が最優先なので、今回も本意ながら外部会議室での開催に承諾しました。

出席者は、会社側は尾原社長、尾関管理部長、石井弁護士、金子弁護士の4名でした。一方組合側は、朝倉分会長、尾畑副分会長、西垣書記長、塚松分会委員、地本支部から3名の合計7名でした。まず議題に入る前に、会社書面差出名が尾関管理部長ではなく、社長にするべきだという組合の抗議に対し、尾原社長は「尾関管理部長が文書を作成しているが、社長の承認を得て尾関管理部長名で出している」と答えました。しかし、尾関氏は経営者ではないので、そのような権限はない筈です。この件については双方の主張が飛び交い、堂々巡りとなりました。今回の主な議題は「年末一時金」ですが、今回も「原資がない」という理由で8期連続のゼロ回答でした。社長はこれまでと同様、数字の説明のみで、赤字に対する打開案も述べていきましたが、抽象的なもので本当に黒字にできるのか疑問が残る回答でした。

また尾原社長が、昨年の夏頃から国産高級L車に乗り換えたことについて指摘しました。組合員からの事前アンケートで、「赤字で昇給も賞与もないのに、国産高級車に乗り換えるのは従業員の気持ちを考えていない」など批判の声が上がっていたので、社長に組合員の生の声を伝えました。社長からの回答は、「オハラ樹脂のお金では買っていない。オハラ産業のリースで使っている。」誤解されているようだが、誤解を解くつもりはない」と、従業員の気持ちを鑑みない開き直った回答しか返ってきませんでした。

今回も恐らく愛知県労働委員会への救済申立てを意識した開催だと考えられますが、妥結には至りませんでしたので、組合は継続議題として引き続き会社に団体交渉を申し入れていきます。